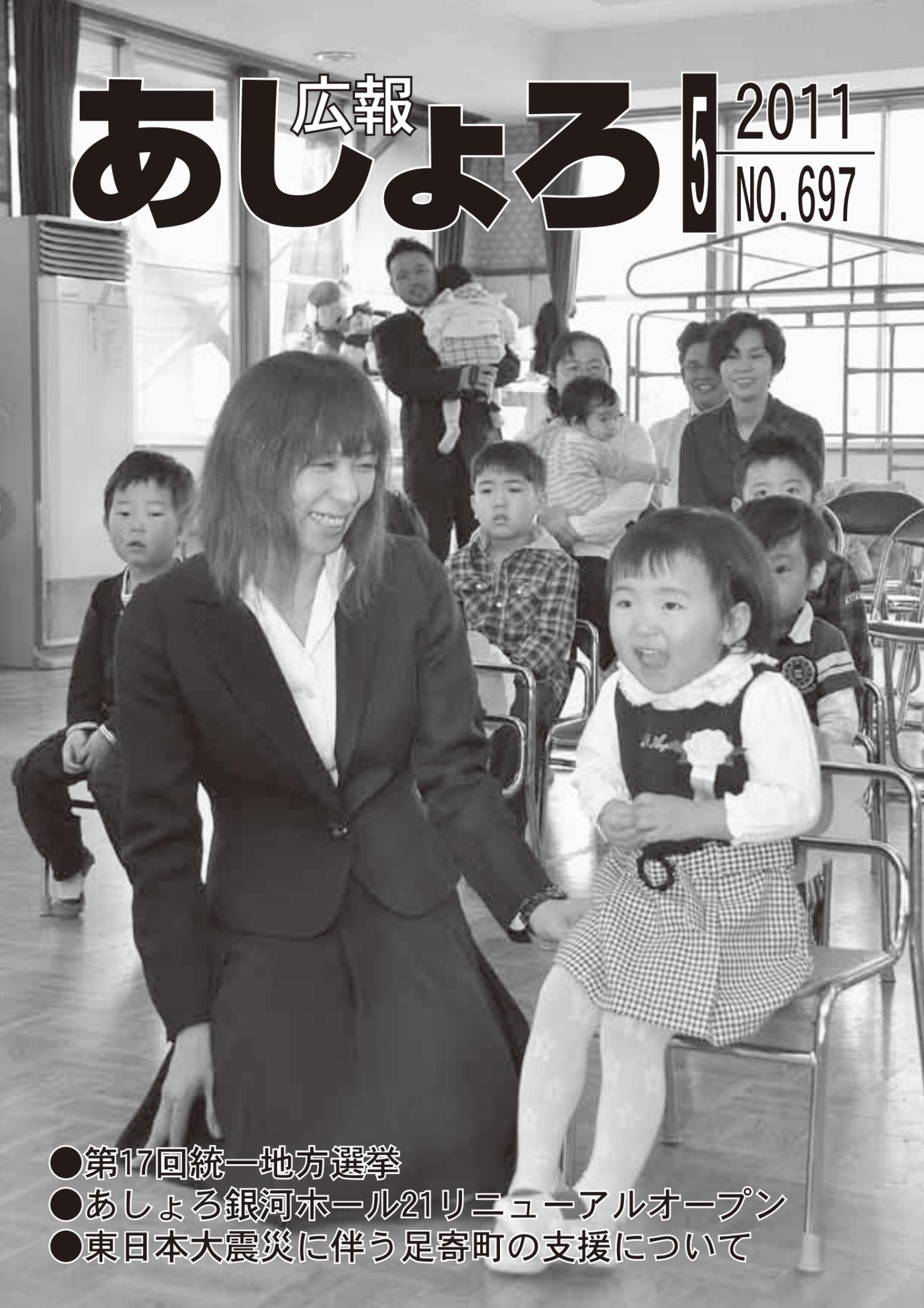


あしよる

広報

2011

NO. 697



- 第17回統一地方選挙
- あしよる銀河ホール21リニューアルオープン
- 東日本大震災に伴う足寄町の支援について

第17回統一地方選挙



選挙当日の有権者数

男 3,062人
女 3,341人
計 6,403人

町長選挙開票結果

当選 安久津 勝彦(無・現) 2,872票
矢野 利恵子(無・新) 2,332票
有効投票数 5,204票 持ち帰り 0票
無効投票数 104票 投票総数 5,308票

4月24日に行われた町長選挙は、現職の安久津勝彦氏(59歳)と新人の矢野利恵子氏(58歳)の2人が立候補し、選挙の結果、安久津勝彦氏が当選を果たしました。また、町議会議員選挙には、定数13人に対し、15人が立候補しました。

町長選挙の投票率は、前々回平成15年に比べ、4.91ポイント下回る82.90%。町議会選挙の投票率は、前回平成19年に比べ1.07ポイント下回る82.90%でした。得票結果などは次のとおりです(敬称略)。

町長・町議会議員選挙

第17回統一地方選挙の

北海道知事選挙の投票が4月10日、足寄町長選挙と足寄町議会議員選挙の投票が4月24日に行われました。なお、北海道議会議員選挙は十勝総合振興局所管区域の立候補者数が定数を上回らなかったため立候補者4人が無投票で当選しました。

北海道知事選挙開票結果

かつや 忠(無所属・新)	64票
宮内 さとし(無所属・新)	135票
高橋 はるみ(無所属・現)	2,690票
木村 としあき(無所属・新)	1,549票
有効投票数	4,438票
無効投票数	51票
不受理	0票
持ち帰り	0票
投票総数	4,489票

北海道知事選挙

統一地方選挙の前半戦、北海道知事選挙の投票が4月10日に行われました。本町の道知事選挙の投票率は、前回平成19年の同選挙を5.87ポイント下回り、69.67%という結果になりました。なお、本町での各候補者の得票結果は次のとおりです(敬称略)。

投票区別投票率(町長選挙)

投票区	投票所	投票率	
		今回	前々回
1	役場	79.17%	84.18%
2	足寄小学校体育館	83.90%	89.72%
3	旭町母と子の家	84.21%	86.25%
4	下愛冠児童館	76.14%	82.40%
5	中足寄集落センター	92.20%	92.26%
6	螺湾基幹集落センター	89.94%	90.72%
7	上足寄集落センター	86.60%	93.33%
8	鷲府集会所	89.80%	94.80%
9	上利別基幹集落センター	80.57%	91.60%
10	大誉地生活改善センター	88.24%	88.48%
11	芽登生活改善センター	85.65%	89.77%
12	茂喜登牛集落センター	87.63%	88.24%
合	計	82.90%	87.81%

候補者別の得票数(町議会議員選挙)

当選	高橋 秀樹	43歳	無所属・新	583,000票
当選	星 孝道	66歳	無所属・現	550,997票
当選	島田 政典	68歳	無所属・現	498,000票
当選	吉田 敏男	65歳	無所属・現	478,000票
当選	田利 正文	61歳	共産党・新	454,000票
当選	高道 洋子	67歳	公明党・現	451,002票
当選	井脇 昌美	64歳	無所属・現	401,000票
当選	前田 秀夫	66歳	無所属・新	383,000票
当選	木村 明雄	64歳	無所属・現	307,000票
当選	後藤 次雄	73歳	無所属・現	258,000票
当選	熊澤 芳潔	64歳	無所属・現	222,000票
当選	川上初太郎	69歳	無所属・現	210,000票
当選	榊原 深雪	64歳	無所属・現	208,000票
	佐野 榮一	57歳	無所属・新	147,000票
	小林千亜紀	41歳	無所属・新	73,000票

投票区別投票率(知事選挙)

投票区	投票所	投票率	
		今回	前回
1	役場	64.87%	72.54%
2	足寄小学校体育館	72.50%	78.16%
3	旭町母と子の家	73.68%	76.26%
4	下愛冠児童館	56.76%	65.63%
5	中足寄集落センター	74.29%	79.49%
6	螺湾基幹集落センター	72.78%	72.16%
7	上足寄集落センター	82.47%	90.74%
8	鷲府集会所	76.19%	83.54%
9	上利別基幹集落センター	66.82%	73.93%
10	大誉地生活改善センター	74.51%	85.29%
11	芽登生活改善センター	69.91%	67.90%
12	茂喜登牛集落センター	65.66%	71.56%
合	計	69.67%	75.54%

選挙当日の有権者数

男 3,085人
女 3,358人
計 6,443人



足寄町の観光と市街地活性化の拠点 あしよる銀河ホール21リニューアルオープン

4月18日、昨年10月から改修工事を行ってきた「あしよる銀河ホール21」がリニューアルオープンしました。
同ホールは、足寄駅としての機能を担った複合施設として平成6年に完成し、平成16年には道の駅に認定。その後、平成18年にはふるさと銀河線が廃止となりました。

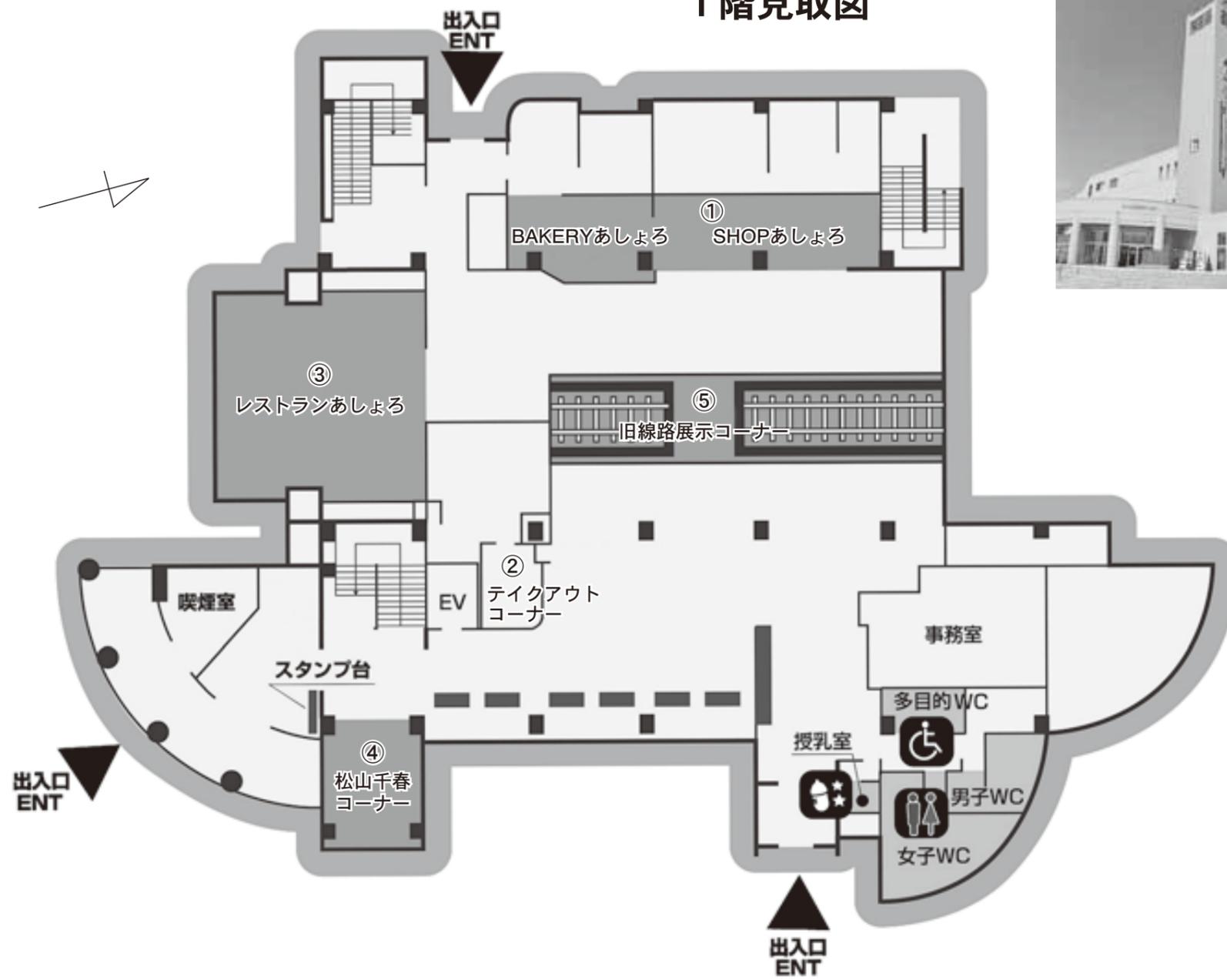
町では本町の中心に位置する同ホールを市街地活性化の拠点と捉え、町民と旅行者でにぎわう施設を目指し、昨年10月から改修工事を行ってきました。
施設内部（1階）には、町特産品を販売する「SHOPあしよる」のほか、焼き立てパンを提供する「BAKERYあしよる」、コーヒーや軽食を提供するテイクアウトコーナー、町産食材などを提供する「レストランあしよる」を併設しています。また、松山千春の衣装などを展示していたコーナーが展示内容を一新して2階から1階へ移動しました。中央部には、旧線路を配置し国鉄池北線、ふるさと銀河線と引き継がれた線路を展示しています。
多数の皆さんのお越しをお待ちしています。

詳細 役場経済課林業商工観光室商工観光担当 ☎25-2141内線252



オープニングセレモニー、テープカット

1階見取図



⑤旧線路展示コーナー



④松山千春コーナー



③レストランあしよる



②テイクアウトコーナー



①BAKERYあしよる、SHOPあしよる

東日本大震災に伴う足寄町の支援について

平成23年3月11日に発生した東日本大震災により、犠牲になられた方々のご冥福をお祈りし、また、甚大な被害に遭われ、ご家族の安否や衣食住に対して大きな不安を抱えながらの日々を送られている多くの方々に対し、心よりお見舞い申し上げます。

町では、被災地への支援として、義援金の募集、支援物資の送付、人的支援、被災者の受け入れを行っています。本町の取り組みをご紹介します。

義援金の募集

町では各関係機関と連携して、3月中旬より町内事業所等に募金箱を設置し、東日本大震災に被災された方々への義援金の受け付けを最重点に行っています。多くの皆さんの善意をいただきます。ご協力をお願いいたします。

実施期間 平成23年9月30日(金)まで
募金箱設置場所

- ① 役場住民課戸籍年金担当窓口
 - ② 役場福祉課福祉担当窓口
 - ③ 町民センター受付窓口
 - ④ 国民健康保険病院受付窓口
 - ⑤ 子どもセンター受付窓口
 - ⑥ 役場内社会福祉協議会窓口
 - ⑦ 商工会加盟事業所
 - ⑧ 農業協同組合関連事業所
- ※募金箱への寄附は中央共同募金会へ集約されます。

※窓口での受け付けは、日本赤十字社足寄町分区が役場福祉課福祉担当、中央および各都道府県共同募金会が役場内社会福祉協議会です。

3月18日に、NPO法人障がい児・者地域サポートふれあい(坂口省吾理事長)から

50万円、同月30日には、足寄町赤字奉仕団員として活動された故我妻敏子さんの



ご遺族から1千万円が日本赤十字社足寄町分区(分区長・足寄町長)へ寄附されています(写真①)。4月19日現在、共同募金会宛および日本赤十字社宛に計12,888,914円(町把握分)の善意が集められています。

支援物資について

北海道からの要請により、支援物資を被災地へ送るため、町の災害備蓄品の中から、アルファ米1,100食、非常用毛布160枚、寝袋116袋、非常用保存水216本、缶入りソフトパン312缶、カロリイメイトロングライフ180箱、簡易トイレセットなどを3月23日に陸上自衛隊帯広駐屯地へ搬入しました。また、日本の森バイオマシネットワークからの要請を受け、3月24日に木質ペレット8tと、町の災害備蓄品の中からサージカルマスク13,000枚、消毒ア



ルコール、非常用保存水96本、軍手などを送りました(写真②)。

4月7日には、町およびJAあしよろから福島県酪農業協同組合への救援物資として、町職員2人・JAあしよろ職員1人が同行し、牧草ロール34個を福島県本宮市に搬送しました(写真③)出発式、④引き渡し)。また、北海道が受け付けを行い、町が取りまとめた個人支援物資については、町民の皆さんから大人用おむつ、粉ミルク、絵本、鉛筆、カップ麺等が寄せられ、十勝総合振興局へ搬入しています。



被災地(本宮市)の報告

・役場経済課・村田善映農業振興室長
・同室農業振興担当・加藤勝廣主査
・JAあしよろ・大塚康次畜産部長

を派遣しました(写真⑤出発式)。今後の人的支援については、一般事務・救護業務・健康状態巡回業務等への職員派遣の準備も進めており、被災地からの要請に応じ派遣を行います。

緊急消防援助隊(石巻市)帰町報告

3月28日から4月3日までの期間、救急活動を行いました。被災地は日々報道されています。被災地は日々報道されています。とおりに悲惨な状況で、道路は幅員が狭いうえに、がれきが散乱し乗用車が往來するのがやっとなという状況です。復旧にどれくらい時間を要するのか想像ができません。一般の家屋はもちろん市街地の大きな建物までが破壊され、戦後の街を模したジオラマを見ているようでした。街全体に海水の臭いと腐敗臭が立ち込め、感染症の拡大が懸念されます。日



足寄消防署 葛西信之係長

50件程の救急出動を行う中で、基礎疾患を持つ方が医療を受けられずに病状を悪化させている状況が見受



石巻市街地

福島県内でも福島第1原発事故により、避難指示を受けた20km圏に位置する地域の酪農家(25戸・総飼養頭数917頭)で飼育されている牛は、絶望的と言われ、酪農家もその確認ができない状況です。また当初、屋内退避指示であった20〜30km圏の酪農家(28戸・総飼養頭数978頭)は、後の避難指示により、家族全員が避難しました。数日後、一時帰宅で自宅に戻り牛舎内の牛の様子を確認したところ、この間にお産した牛は母子共に死んでいたそうです。他の牛も衰弱した状態で、家族の一員とも言える牛を置いて、もう一度家族全員で避難する気にはなれず、今は若夫婦や孫を避難させ、老夫婦が自宅に残り牛の世話をしています。

4月7日現在、福島県全域で搾っている生乳は、日量180t(震災前の出荷日量250t)で全て廃棄しています。4月8日に政府が生乳出荷規制の緩和措置を発表しましたが、福島県には事前の連絡もなく、政府の指示に振り回されている事に、地元組合関係者も混乱している状況でした。また、農作物等の風評被害の不安も大きく、福島県では、震災よりも原発事故の影響を強く感じました。

各農家は、生乳出荷ができず収入が

人的支援について

緊急消防援助隊として、

3月28日から足寄消防署職員1人を宮城県石巻市へ派遣し、さらに、4月13日から同署消防車1台と職員1人



⑤

人的支援について

緊急消防援助隊として、

3月28日から足寄消防署職員1人を宮城県石巻市へ派遣し、さらに、4月13日から同署消防車1台と職員1人



⑤

被災者の受け入れ

避難者支援として、北海道に対し、受入可能な公営住宅と仮設住宅が建設可能な町有地を報告しています。今後、要請に応じて受け入れを行う予定です。

本町の開拓に尽力されました先人の多くは東北地方から入植されています。町では、被災されたご親戚などの避難希望のご相談も承りますので、ご遠慮なくお問い合わせください。また、被災された方の受け入れ可能な住宅等の情報も募集しています。お心当たりのある方も併せてご連絡ください。

未曾有の災害に見舞われた被災地や被災された方への支援は、状況に応じて内容を充実させ、長期的に継続して行く必要があります。住民の皆さんには、温かいご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

詳細 役場総務課企画財政室

☎25-12141内線319

着任医師・新規採用職員を紹介します (4月1日付)



北岡 文生
国民健康保険病院
医 長

年齢 47歳 出身 福岡県
出身校 長崎大学医学部
専門科目 外科、消化器外科、
救急科、がん治療
診療科目 外科、消化器外科、
肛門外科
趣味 ドライブ、ゴルフ



竹本 尚史
国民健康保険病院
医 長

年齢 37歳 出身 広島県
出身校 札幌医科大学医学部
専門科目 内科、家庭医学
診療科目 内科
趣味 読書、旅行、水泳、ス
ノーボード



辻 泰平
総務課総務室
主 事

年齢 23歳 出身 足寄町
趣味 囲碁
「一日も早く仕事を覚え、足寄町をより良くするにはどうすればいいかを考えていきたいと思えます。よろしくお願ひします」



柴崎 美来
総務課総務室
主 事

年齢 23歳 出身 広尾町
趣味 読書、弓道
「町職員として町民の皆さんが気持ちよく生活できるように、精一杯仕事に取り組みたいと思えます。よろしくお願ひします」



田端美智代
福祉課保健福祉室
主任保健師

年齢 40歳 出身 足寄町
趣味 読書
「このたび新規採用になりました。町民の皆さんに信頼される職員を目指し、頑張りたいと思えます。どうぞよろしくお願ひします」



豊島 由
福祉課保健福祉室
主 事

年齢 37歳 出身 小樽市
趣味 チェロ演奏
「このたび縁あって札幌からやってきました。福祉専門職としてこの町のために微力ながら尽力させていただきたいと思えます」



須田 亙
国民健康保険病院
技 師

年齢 29歳 出身 中標津町
趣味 野球、釣り、読書
「理学療法士という立場から、患者さんのみならずこの地域の方々にさまざまな形で貢献できるように頑張りたいと思えます。よろしくお願ひします」



布施 拓也
国民健康保険病院
看護師

年齢 45歳 出身 函館市
趣味 日曜大工
「日々勉強し、良い看護を提供することができるよう、頑張っていきたいと思えます。未熟者ですが、どうぞよろしくお願ひします」



平尾 千賀
国民健康保険病院
看護師

年齢 40歳 出身 青森県
趣味 旅行
「昨日は何となくとも、今日の体の不調に気付ける看護師を目指し、努力していきたいと思えます。よろしくお願ひします」



熊谷 美沙
国民健康保険病院
看護師

年齢 21歳 出身 札幌市
趣味 読書、映画鑑賞、水泳
「未熟な部分も多いと思いますが、1日でも早く患者さんのお役に立てる看護師になれるように日々努力を重ねていきたいと思えます」

旭日双光章

故 浅川 昭さん

81歳・南2条1丁目
平成23年2月8日逝去

4月4日、地方自治の発展に寄与された、故浅川昭さんに旭日双光章が贈られ、安久津勝彦町長から長女の家常みどりさんに勲記・勲章が伝達されました。

浅川さんは昭和56年9月から平成23年2月まで町公平委員会委員（うち平成3年から同委員長）を務められるなど、本町の振興発展に貢献されました。



6月1日は

人権擁護委員の日です



國見 勲
南 6 - 1 ☎25-4545



西野 勲
南 2 - 5 ☎25-3808



大内 佳代子
中 矢 ☎25-5067

足寄町には町長から推薦されて、法務大臣が委嘱した3人の人権擁護委員の方がおります。

わが国では、基本的人権の尊重を基本原理とする日本国憲法の下で、人権に関する諸制度の整備や諸施策の推進が図られてきました。しかし、現状は不当な差別や人種、性別などによる差別などさまざまな問題が生じています。

人権擁護委員は、離婚相談などの家庭内の問題や隣近所のもめごとなど、幅広い内容に対応します。相談は無料で難しい手続きもありません。気軽にご相談ください。

◆特設人権相談所開設
日時 6月1日(水)
午後1時～3時

場所 足寄町民センター

行政への相談・苦情は

行政相談委員会へ

行政相談は、国の行政全般についての苦情その他相談や意見・要望を受け付け、相談者と関係行政機関の間につけて、公正・中立の立場から必要なあっせんを行うものです。

こんな相談ありませんか。
・ 国道の道路標識がわかりにくい。
・ 年金の書類が送られてこない。
などの苦情や要望について、行政相談委員が相談に応じています。気軽にご相談してください。



先崎 三朗
南 1 - 4 ☎25-4974

◆行政相談所開設

日時 6月1日(水) 午後1時～3時
場所 足寄町民センター

◆釧路行政評価分室でも相談を受け付けています。
『行政苦情110番』☎0570-090110



4.1 足寄保育園どんぐり



4.7 螺湾保育所



4.8 足寄小学校



4.8 螺湾小学校



4.8 足寄中学校



4.7 上利別保育所



4.7 芽登保育所



4.8 大誉地小学校



4.8 芽登小学校



4.8 足寄高等学校

入園・入所・入学おめでとう



3.20 ショッピングを楽しむ

第36回町消費生活展が町民センターで開かれました。会場には町民から集められたリサイクル品のショッピングコーナーや町特産品拡大コーナー、町木質ペレット研究会のピザ試食コーナーなどが出店され、多数の来場者が訪れました。なお、益金は東日本大震災の義援金として被災地に届けられます。



3.25 青年サミット

第26回町青年サミット（町青年団体連絡協議会主催、阿部孝志会長）が町商工会館で開かれました。帯広信用金庫足寄支店、横内寿一支店長が「事業継承について」「確定申告書は事業・家計の通信簿」と題して講演を行い、地域金融機関の役割や確定申告における所得控除の活用等について解説されました。



4.20 防火パレード、防火PR

春の火災予防運動に併せ、足寄消防署と足寄消防団が町内で防火パレードと防火PRを行いました。防火PRでは女性消防団員らが市街地3カ所のスーパーに分かれ、買い物客などにティッシュを手渡し、火災予防を呼び掛けました。また、期間中に同団員が独居老人宅を訪問し防火意識の啓発を図ります。



4.27 クリーン大作戦

芽登小学校（松井敦子校長）の児童たちが国道241号沿いの駐車帯で清掃活動「クリーン大作戦」を行いました。児童たちは火ばさみとゴミ袋を手に持ち、空き缶やペットボトル、たばこの吸い殻など、大量のゴミを拾い集めました。ゴミは駐車帯を管理する帯広開発建設部足寄道路事務所職員などの協力を得て、埋め立てゴミや資源ゴミなどに分別されました。

南区コミュニティセンター完成

国の森林整備加速化・林業再生事業を活用し、旧公民館跡地で昨年秋季より建設を行っていた「南区コミュニティセンター」が完成し、4月1日より利用を開始しています。ユニバーサルデザインに基づき設計したこの施設は、年齢層に関係なく、どなたでも利用しやすく、また足寄町産カラマツをふんだんに使用し、木の香りがたたくように温もりに満ちた建物です。館内は、集会室や会議室、研修室、調理室からなり、特に



集会室では、テーブルと椅子の設置で50人が参加できるスペースを確保しています。各種サークルや講習会等での利用のほか、葬儀会場としても利用が可能です。館外には、テラスも設置しており地域等のイベント広場としても利用できます。

役場総務課契約財産室
☎25-2141
内線343



集会室



研修室

ふるさと足寄 応援寄附金

ふるさと足寄応援寄附金は、足寄町にゆかりのある方や思い入れのある方などに「寄附金」を通じて足寄町を応援していただくものです。

町では、本町を応援してくれる皆さんからの寄附金を基に、魅力ある個性豊かなまちづくりを進めるため「ふるさと足寄応援寄附条例」を制定しています。

ふるさと寄附金（ふるさと納税制度）は、ふるさとに貢献または応援したいという方が、地方公共団体に寄附をした場合、5,000円を超える額について、一定限度まで住民税と所得税が控除される制度です。

昨年度は、足寄町に「ゆかりのある方」「思い出のある方」、足寄町を「心のふるさと」と思っていた方から「心の方から」「自然豊かな大地をいつまでも財産として残して」「ささやかながらお力添えができれば」など、本町への応援メッセージとともに4件1,205,000円の寄附をいただきました。

いた、いただいた寄附金は「ふるさと足寄応援基金」に積み立てし、地域産業や観光の振興、高齢者の暮らしを守る事

業など、寄附された方の意向に沿って活用してまいります。皆さんの応援・ご協力をお願いします。

ご寄附いただいた方を紹介します

住 所	氏 名	寄 附 額
東京都江戸川区	足立 琢哉 さん	100,000円
北海道滝川市	大井 伸治 さん	1,000,000円
埼玉県春日部市	畠 文七 さん	100,000円
神奈川県秦野市	森田 京子 さん	5,000円

※公表を承諾された方のみ掲載しています

申込先・詳細
役場総務課企画財政室企画調整担当
☎25-2141 内線314

町民 防災講座

第40回
地域の安全は“心の備え”から

心と身体、人の備え

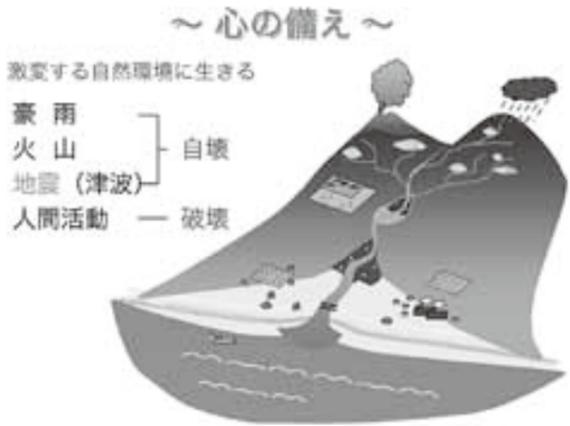
自然災害の備えには“心の備え”と“身体”の備え、そして“人の備え”が必要であることを、私はいろんな場面で申し上げてきました。2011年3月11日の東北地方太平洋沿岸域を襲った巨大地震津波災害は、災害への備えの重要さをあらためて提示してくれたように思います。この日以来、私個人が感じてきた思いを述べてみたいと思います。

まずやはり“心の備え”についてです。私たちの暮らす日本列島は、地震（津波）・火山・豪雨などの自然災害を古くから経験してきました。これら自然災害は建物・道路・農地・漁場な

どの破壊と人命損失をもたらすだけではなく、時には地域社会そのものを消失させてきました。このため自然災害の危険におびえつつ、またその危険を低減するための限定的な安全対策を行いつつ、先人達は生きてきたのです。近年各地で作られている自然災害のハザードマップには、その危険域と危険度が示されています。しかし、ここに示された危険性はその一例にしか過ぎず、時にはそれ以上のことも起こり得ることを覚悟しておくこと、これが“心の備え”です。すなわち歴史はもちろん、自然史上（たとえば10世紀以内）発生してきた大規模異変についても、“起こり得る”こととして認知しておくことが求められているように思えます。

新聞報道によると、釜石のある小・中学校では、避難行動によって生命が一つも失われなかったそうです。毎週1時間の防災学習、特に“津波でんでんこ（2008山下文男作）”（地震が起きたら津波が来る。それぞれでんでんに高台へ逃げ登ること）を通して、生徒たちに“心の備え”（自主判断能力と自主行動能力）が育まれていたためとみられます。1933（昭和8）年昭和三陸沖地震津波（マグニチュー

ド8・1）、さらに1960（昭和35）年チリ沖地震津波の経験を継承してきた高齢者も、祖父母から1896（明治29）年明治三陸沖地震津波（マグニチュード8・5）のことを伝えられていたそうです。これらの伝承を地域の津波文化として位置づけ、住民自主防災を学習し続けてきた成果ともいえます。

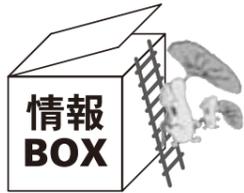


一方、沿岸部に新設されていた防潮堤や堤防がある故に、逆に心の備えを

放棄させていた可能性も否定し得ません。大規模津波がこれ乗り越えたり、河川沿いに遡上したりして、堤内地の人命を住家ともども流失させることなど思いもしなかった、との苦汁の思いを吐いていた住民たちがテレビ報道に登場してました。危険低減のために行ってきた“身体”の備え（堤防や防潮堤など）は、人間社会として対応し得る現象を想定したものであり、これ以上の現象については、避難行動などで生命だけは最低限守るとの“心の備え”を前提にしたものなのです。

また、安全未来まちづくりに欠かせない“人の備え”もまた、心の備えが必須です。特に自治体行政に、また地域の住民自主組織にも防災専門組織が配置され、地域の自主判断・行動能力が培養されることを願っています。時間のかかることですが、これには学校教育・地元行政・地域産業・関係機関等との地域連携構築が必須なのだと思います。“安全”を基軸とした日本社会の進化をあらためて期待せざるを得ない今日です。

詳細 役場総務課企画財政室
☎25-2141 内線311
（北海道大学名誉教授 新谷 融）



お知らせ

自動車税は納期までに納税をお願いします

自動車税は4月1日現在で自動車をお持ちの方（運輸支局に登録されている方）に納めていただく北海道の税金です。道が事業を行うための貴重な財源です。

今年の納期限は5月31日(火)です。納期内納税にご協力願います。

納税通知書は5月6日ごろに発送しています。納税通知書が届かない場合や納税についてのご相談がある方はお問い合わせください。また住所が変わったときは十勝総合振興局および運輸支局で変更手続きを、自動車を売買したときは運輸支局で移転登録を、廃車したときは運輸支局で抹消登録をするようお願いします。

詳細 十勝総合振興局地域政策部納税課
☎0155-27-8533

電波の正しい利用を！

6月1日から10日は「電波利用環境保護周知啓発強化期間」です。不法無線局による重要無線通信やテレビ・ラジオへの混信妨害事例は依然として多数発生し、電波利用環境の悪化が懸念されています。電波はルールを守って正しく利用しましょう。

詳細 北海道総合通信局
☎011-709-2311

火気の取り扱いに注意

4月に入り、本別警察署管内において野火火災が連続発生しています。枯れ草や家庭ごみの焼却が主な原因です。家庭ごみを含む廃棄物を勝手に焼却する行為は法律で禁止されています。廃棄物は自治体の規則に従って正しく処理し、火気の取り扱いには十分注意しましょう。

詳細 本別警察署
☎22-0110

住民生活相談員にご相談ください

4月から役場住民課住民生活担当に住民生活相談員を配置しています。消費生活問題を中心に町民の皆さんから相談を受け付けます。気軽にご相談ください。



相馬布美子
相談員

相談先・詳細 役場住民課住民生活担当
☎25-2141内線224

地デジのことなら、なんでも
ご相談ください！

☎0154-99-0101

平日 午前9時～午後9時
土日祝 午前9時～午後6時

本別から

資料館企画展 「びっくりワクワク絵本展」

「しかけ絵本」「絵本写真展」「絵本の歴史」を通して、子どもも大人も楽しめる絵本の魅力を紹介します。皆さんのご来場をお待ちしています。

期間 5月21日(土)まで

※日・月曜日、祝日は休館になります

場所 本別町歴史民俗資料館

開館時間 午前9時～午後4時

入館料 無料

詳細 本別町歴史民俗資料館

☎22-2141内線410

陸別から

オフロードバトル

陸別サーキットに春を告げるオフロードシーズンがやってきました。ぜひご来場ください。

日時 5月22日(日)
スタート午前9時～

場所 陸別サーキット（陸別町ウエンベツ）

入場料 大人 1,200円
高校生以下 無料

詳細 陸別町役場産業振興課内
☎27-2141

FAX 27-2798

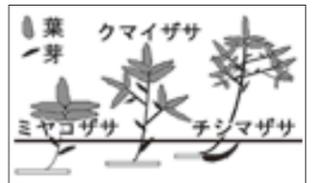
雪

が消え春は近づけど木々は眠ったまま。こんな時期はササがよく見えますね。

自然探訪

第73回『ササが語るつもる話』

（九州大学北海道演習林 菱拓雄）



枝分かれと芽の位置の特徴（紺野1977より）

一本の茎に葉を直接付け、芽は土の中に隠れます。道北、日本海側や山地の多雪地帯にはチシマザサ、道南やわ

れわれの住む道東太平洋側の少雪地帯にはミヤコザサ、それ以外の道内地域にはクマイザサが広く分布します。分布の違いは冬の冷気から雪がどの高さまでササの芽を守ってくれるのかによって生じます。つまり足寄の50センチメートル足らずの積雪はミヤコザサを守るのが精一杯です。皆さんも道内をドライブする際には冬を思いながらササの種類や高さに注意してください。雪がどのくらいササを守っているのか実感できますよ。

詳細 九州大学北海道演習林
☎25-2608

町民ボランティアの森づくり

緑のまちづくり協議会では、平成18年度の低気圧で風倒被害に遭った里見が丘の町有林に町木のアカエゾマツ1,000本を植樹します。ご家族・お友達などお誘い合わせの上、気軽に参加ください。

日時 6月5日(日)
午前9時15分集合
※雨天決行
集合場所 ネイパルあしよる駐車場

その他 申し込みの必要はありません。動きやすい服装でお越しください。受け付けで重手とタオルを配布します。また、先着100人にブルーベリーの苗木をプレゼントします。

詳細 役場経済課林業振興担当
☎25-2141内線244



第30回足寄ふるさと花まつり

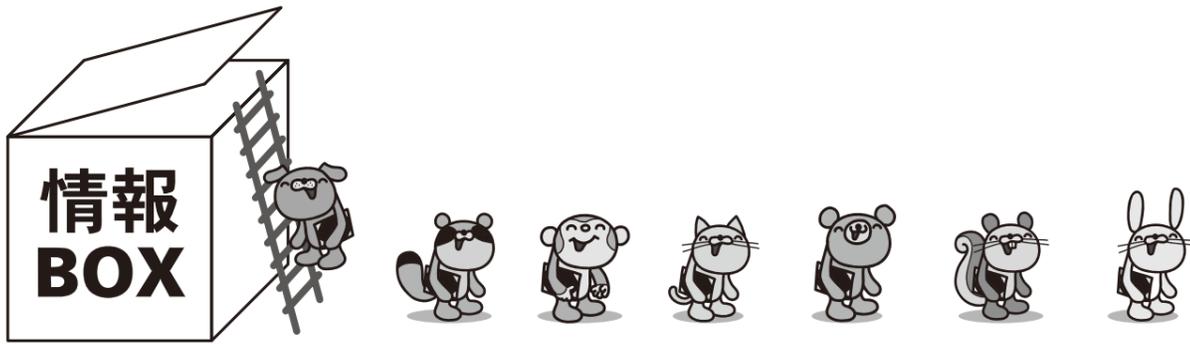
丘一面に咲くシバザクラを眺め、春の訪れを感じながら、みんなで焼き肉を食べたりショーを見たりして楽しいひとときを過ごしませんか。自治会・職場の仲間などお誘い合わせの上、奮って参加ください。

日時 6月5日(日)
午前10時～午後2時30分
※雨天中止
場所 里見が丘公園フラワー園

内容 豪華賞品が当たる抽選会、文化芸能・吹奏楽演奏等のステージショー、炭の無料配布など

詳細 役場経済課商工観光担当
☎25-2141内線253





お知らせ

足寄町住生活基本計画および 足寄町公営住宅等長寿命化計画の公表・閲覧について

町住生活基本計画

町では住生活基本法に基づき、町民の住生活の安定確保および向上の促進に関する基本的な方向を定め、住宅施策を総合的に推進するため「足寄町住生活基本計画」を策定しました。本計画では、少子高齢化社会に対応する「安心居住プロジェクト」、公営借家需要に対応する「公営住宅整備活用プロジェクト」、地域活性化と連動する「地域住宅建設プロジェクト」に重点的に取り組みます。

町公営住宅等寿命化計画

町では公営住宅のストック状況を把握し、これまでの対処療法型の維持管理から予防保全的な維持管理への転換を図り、耐久性の向上を図る改善等を実施し公営住宅の長寿命化によるコストの縮減と計画的な修繕・改善計画を定めた「足寄町公営住宅等長寿命化計画」を策定しました。本計画では、まちづくりおよび地域の実情や入居者の状況、高齢者や子育て世帯の需給動向を踏まえ、新団地などの建設を予定しています。

両計画の閲覧について

開庁日の午前8時35分～午後5時5分、役場建設課建設室建築担当または総務課契約財産室財産管理担当窓口で閲覧を行っています。町ホームページ (<http://www.town.ashoro.hokkaido.jp>)からも閲覧できます。

詳細 役場建設課建設室建築担当 ☎25-2141内線381

国保特定健診・胃・肺・大腸・前立腺がん検診 肝炎ウイルス検診

日時 6月21日(火)～23日(木)
午前6時～10時(先着順時間予約制)

場所 町民センター

対象 国保特定健診：平成23年4月1日現在、町国民健康保険に加入している40～74歳の方、胃・肺・大腸がん検診：40歳以上、前立腺がん検診：50歳以上の男性、肝炎ウイルス検診：35歳以上

料金 胃2,100円、肺500円、かく痰1,300円、大腸700円、前立腺1,795円、C型肝炎ウイルス検診500円、B型肝炎ウイルス検診(HBs抗原検査)300円

※国保特定健診の方は無料、生活保護の方は無料、70歳以上の方は肝炎ウイルス検診のみ無料

申込期限 5月23日(月) 午後5時まで

申込先・詳細 役場福祉課保健福祉室保健推進担当 ☎25-2571

身体等に障がいのある方の 軽自動車税減免について

身体等に障がいのある方のために使用する自動車で一定の要件に当てはまるものは、申請により軽自動車税の減免を受けることができます。

対象

①身体障がいのある方

※障がいの区分、程度によっては該当にならない場合がありますのでお問い合わせください。

②知的障がいのある方

・療育手帳の交付を受けている方
・知的障害者更生相談所または児童相談所の判定書により知的障がいがあると判定された方

③精神障がいのある方

・精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方のうち、障がいの等級が1級～3級の方
・精神保健指定医の診断書により障がいがあると診断された方

④戦傷病者手帳の交付を受けている方で一定の範囲の障がいがある方

申請手続き

減免の申請をされる方は、次のものを持参し5月24日(火)までに役場住民課税務室賦課担当までお越しください。

- ・印鑑
- ・身体障害者手帳等(障がいの確認できるもの)
- ・軽自動車税納税通知書
- ・自動車運転免許証

※減免の適用は1台に限ります。普通乗用車等で減免を受けられている方は対象になりません。

詳細

役場住民課税務室賦課担当 ☎25-2141内線235

検察審査員に選ばれたら ご協力を！

交通事故、詐欺などの被害に遭ったのに、検察官がその事件を裁判にかけてくれない。どうも納得できない。このような人のために検察官の行った処分が正しかったかどうかを審査する機関として「検察審査会」があります。

検察審査会では、11人の審査員がこの審査を行います。審査員は衆議院議員の選挙権を持っている一般の国民の中から「くじ」で選ばれることになっています。皆さんもいつか審査員に選ばれることがあるかもしれません。審査員に選ばれたときには、国民の代表としてこの仕事にご協力をお願いします。

詳細 帯広検察審査会事務局(釧路地方裁判所帯広支部内)
☎0155-23-5141

図書室事業 「ブックスタート」

ブックスタートとは、本町で育つすべての赤ちゃんが絵本を通して「あたたかくて楽しいことばのひととき」を持つことを応援するものです。

本年度のブックスタート(5～7カ月児の乳児検診日に実施)でプレゼントする絵本が決まりました。

プレゼントする絵本

「くだもの」 作 平山和子
「ごぶごぶ ごぼごぼ」

作 駒形克己

詳細 教育委員会生涯学習室生涯学習担当 ☎25-3188

平成23年度調理師試験

試験日時 8月31日(水)
午後1時30分～4時

試験地 帯広市

(会場は受験票により通知)

願書受付期間 5月27日(金)まで

願書配布場所および提出先

帯広保健所および各支所

※受験資格や手数料など詳しくはお問い合わせください。

詳細 帯広保健所
☎0155-27-8638

有害駆除実施中

町ではエゾシカによる被害を減らすために銃やわなによる有害駆除を実施しています。4月1日から10月末までの期間に山菜採り等で山林や畑、牧草地の周囲を歩く時は、目立つ服装で入林し設置されているわなに注意してください。

詳細 役場経済課林業商工観光室林業振興担当
☎25-2141内線242

敬老感謝無料撮影

十勝写真館協会では、今年、喜寿(数え年77歳)を迎えられる方を対象に無料で写真撮影を行い、カラーポートレート写真(キャビネ判1枚)をプレゼントします。

対象

昭和10年1月1日から同年12月31日生まれの方(証明できるものを持参願います)

実施期間 6月1日(水)～7日(火)

撮影場所 川村写真館

(南2条1丁目)

詳細 十勝写真館協会
☎0155-25-5340

善意のご寄附・ご寄贈 ありがとうございます

町へ

・故安久津義人さん(南6条1丁目)ご遺族から町振興のために 500万円



故 安久津義人さん

・町商工会女性部(久保真知子部長)から足寄保育園どんぐりへ 図書券1万円

新入学の小学1年生へ

・足寄ライオンズクラブ(和知紀夫会長)からランドセルカバー
・足寄ロータリークラブ(中谷彰会長)から

防犯ブザー

・町交通安全協会(國見勲会長)から 色鉛筆、塗り絵
・町交通安全協会女性ドライバー支部(齋藤道代支部長)から 鉛筆

・町商工会女性部から 足型キーホルダー

・帯広建設業協会から 連絡用ファイルケース

・株式会社ほファイナンシャルグループほかから

黄色いワッペン

・日本マクドナルド㈱から 防犯笛

うちの人気者

掲載を希望される方は、役場総務課総務室・広報広聴担当まで

加藤 幸希^{こうき ちん}

(平成21年5月4日生まれ)
きかんしゃトーマスが大好きで、1日中「ぽっぽー」と言いながら元気に遊んでいます。お散歩も大好きです。できることが増えてきて毎日楽しいです。

幸雄・千代子^{ちん}の子
(下愛冠2丁目)



櫻場 爽太^{そうた ちん}

(平成21年5月26日生まれ)
車が好きで、トラックやバスを見ると大きな声を出して喜びます。お姉ちゃんに仕込まれた芸でみんなを楽しませてくれる元気で明るい子です。

康・直美^{ちん}の子
(栄町1丁目)



小林 蒼依^{あおい ちん}

(平成21年5月18日生まれ)
歌ったり踊ったりするのが好きで、いつも家の中がにぎやかです。おしゃべりもできるようになってきて、楽しませてくれます。

義高・美樹^{ちん}の子
(西町7丁目)



ひとのうごき

4月末の住民基本台帳

人口	7,748人 (+36)
男	3,759人 (+16)
女	3,989人 (+20)
世帯	3,617世帯 (+24)

()内は前月比

今月の表紙

4月7日に行われた「上利別保育所入所式」でのスナップです。 (⇒11ページ)

編集後記

☆春の陽気が感じられるようになりました。暖くなることはうれしいことですが、花粉症の私にとってはつらい季節でもあります。マスクが必需品になりそうです。
☆本号でお伝えしていますが、あしよろ銀河ホール21がリニューアルオープンしました。中に入ると以前とは雰囲気さがらりと変わり、とても広々としています。レストランやベーカリー、旧線路展示コーナーなど、ゆったりとくつろげる内容となっています。ぜひ皆さんも一度足を運んでみてはいかがでしょうか。

広報あしよろ5月号 No.697

発行：足寄町
編集：総務課総務室 ☎25-2141 内線334
〒089-3797 北海道足寄郡足寄町北1条4丁目48番地1
<http://www.town.ashoro.hokkaido.jp>